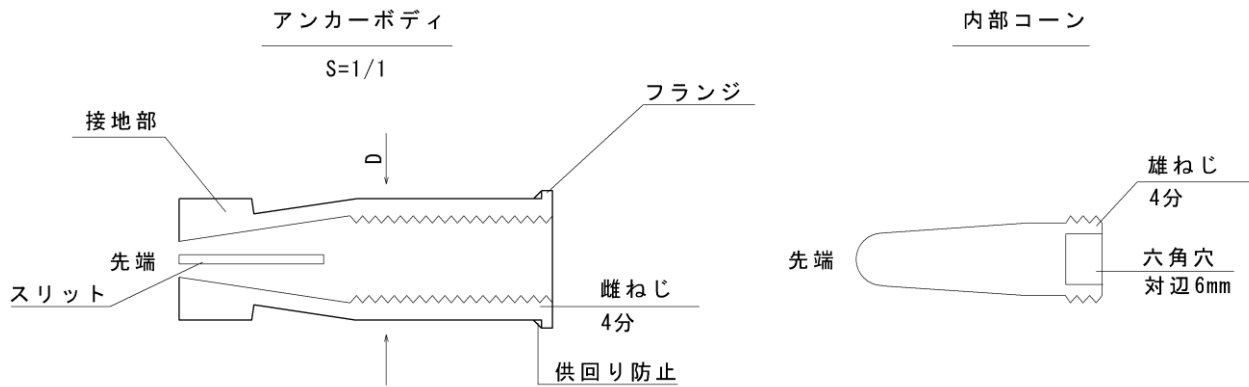
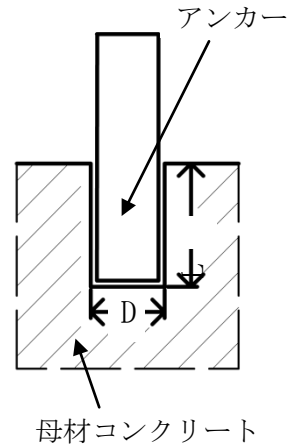


## 品質性能験報告書

試験名称	金属系あと施工アンカーの引張試験										
依頼者	株式会社 ANCHOR BIRDS										
試験体 (依頼者 提出資料)	試験項目	試験体記号	アンカー			穿孔		全ねじボルト (接合筋)		数量 本	
			全長mm	本体径mm	材質	深さ	径	ねじの呼び	材質		
	引張	T-A~E				表-1 参照		1/2-13 UNC	SS400	各5	
	参 照：表-1 (穿孔深さ及び穿孔径) 図-1 (アンカーの詳細) 図-2 (アンカーの埋め込み位置)										
試験方法	<p>準拠規格：あと施工アンカー標準試験方法・同解説 (一般社団法人 日本建築あと施工アンカー協会)</p> <p>加力装置：センターホール型油圧ジャッキ，センターホール型ロードセル(容量：100kN)，反力台，鋼板，球座，テンションバー，圧縮試験機(最大秤量：2000kN)</p> <p>測定装置：電気式変位計(容量：50mm，感度：<math>200 \times 10^{-6}</math>/mm，非直線性：0.1%RO)，データロガー</p> <p>参 照：写真-1 (試験実施状況)</p>										
試験結果	試験項目	試験体記号	最大荷重時			破壊 モード	母材コンクリートの 圧縮強度* ( $\sigma_c$ ) N/mm <sup>2</sup>				
			荷重 ( $P_{max}$ ) kN	変位 ( $\delta_{max}$ ) mm							
	引張	T-A		22.1	1.1		A	22.6			
		T-B		24.6	5.6		A				
		T-C		23.1	2.5		A				
		T-D		23.4	2.7		A				
		T-E		21.7	14.5		A				
平均		23.0	5.3		-	-					
	<p>注) 1.破壊モード欄の記号は，次の内容を示す。 A：コーン状破壊 B：アンカー抜け C：アンカー破断 D：接合筋破断</p> <p>2.*は，母材打設時に作製した，試験体(<math>\phi 100 \times 200</math>)3本の平均値を示す。</p> <p>参 照：図-3 (荷重-変位曲線) 写真-2~写真-6 (破壊状況)</p>										
試験日	平成30年 5月 1日										
担当者	<p>試験課長 矢 埜 和 彦 早 崎 洋 一 (主担当) 森 田 洋 介 品 末 竹 彦</p>										
試験場所	西日本試験所 山口県山陽小野田市大字山川 TEL 0836-72-1223										

表-1 穿孔深さ及び穿孔径

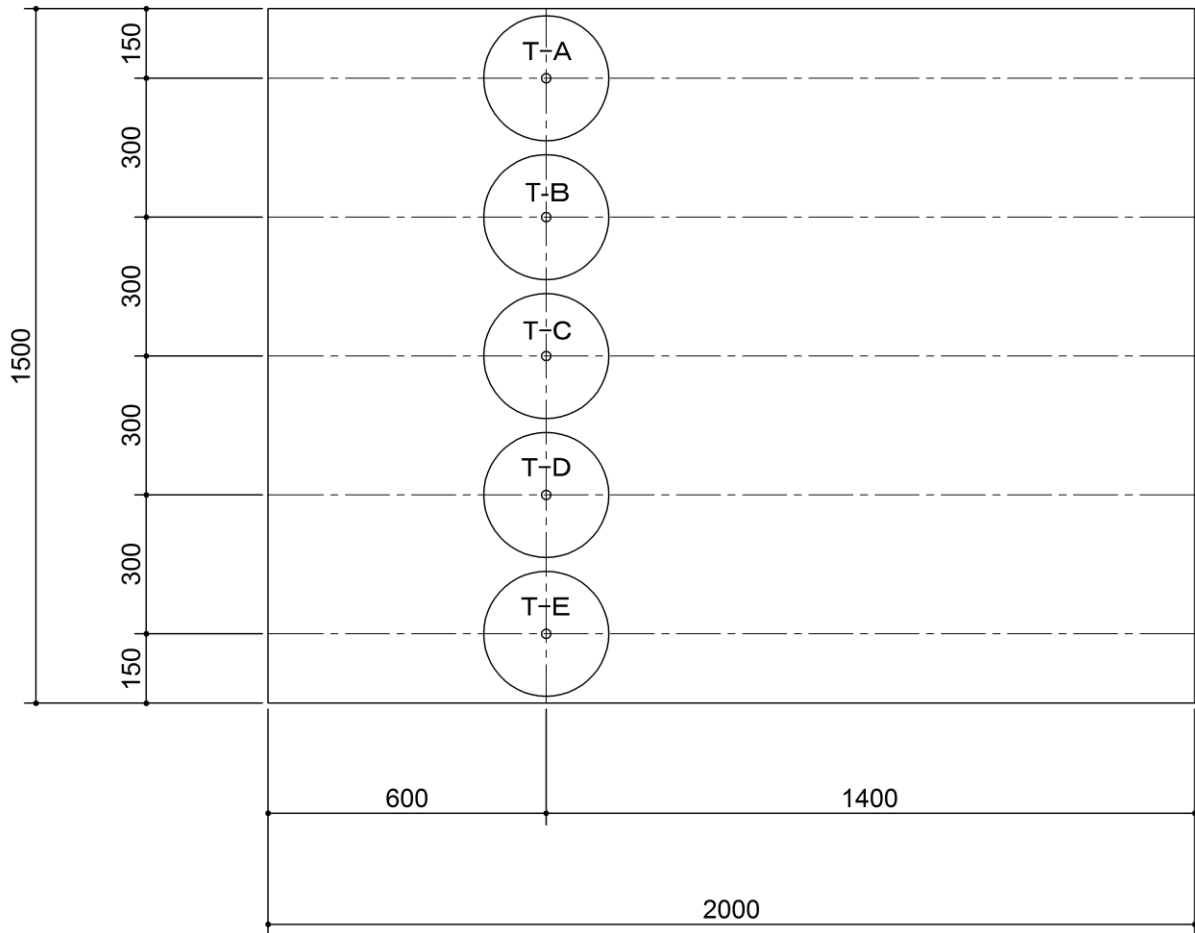
試験体記号	穿孔深さ L(mm)			穿孔径 D(mm)		
	1	2	平均	1	2	平均
T-A	57.6	57.3	57.5	17.9	18.1	18.0
T-B	57.7	57.6	57.7	18.0	18.2	18.1
T-C	57.4	57.2	57.3	18.1	18.1	18.1
T-D	57.2	56.9	57.1	18.1	18.1	18.1
T-E	55.5	55.6	55.6	18.2	18.0	18.1



試験体記号	コーンの締付トルク値 N/m
T-A	32.6
T-B	32.3
T-C	31.2
T-D	30.8
T-E	31.2

(依頼者提出資料)

図-1 アンカーの詳細



※図中の○は、支持板の非拘束範囲を示す。

(依頼者提出資料)

図-2 アンカーの埋め込み位置

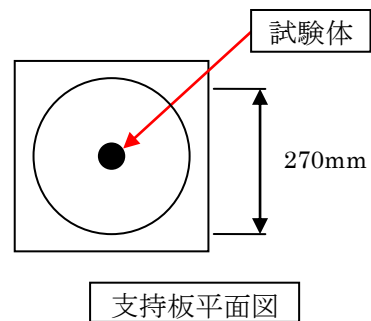
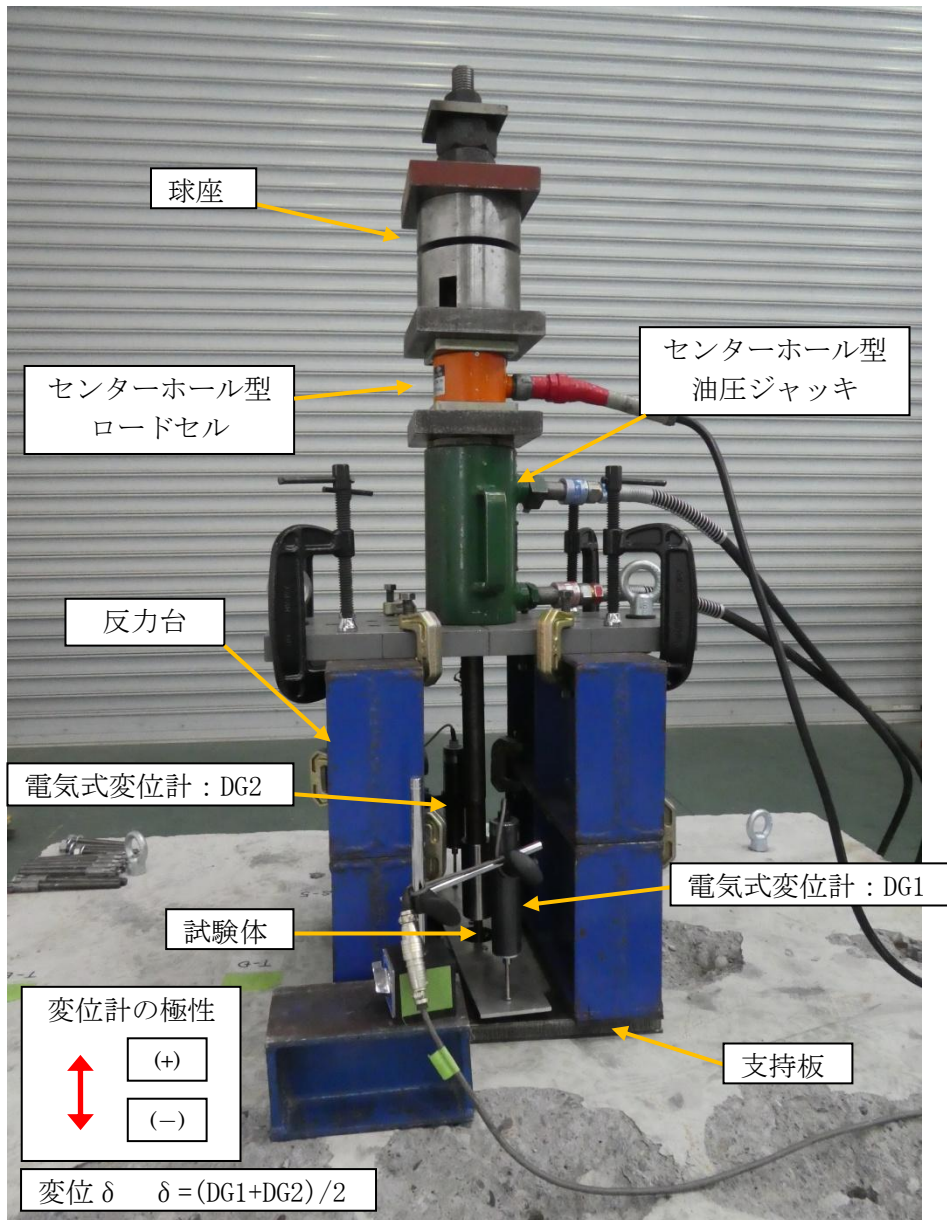


写真-1 試験実施状況

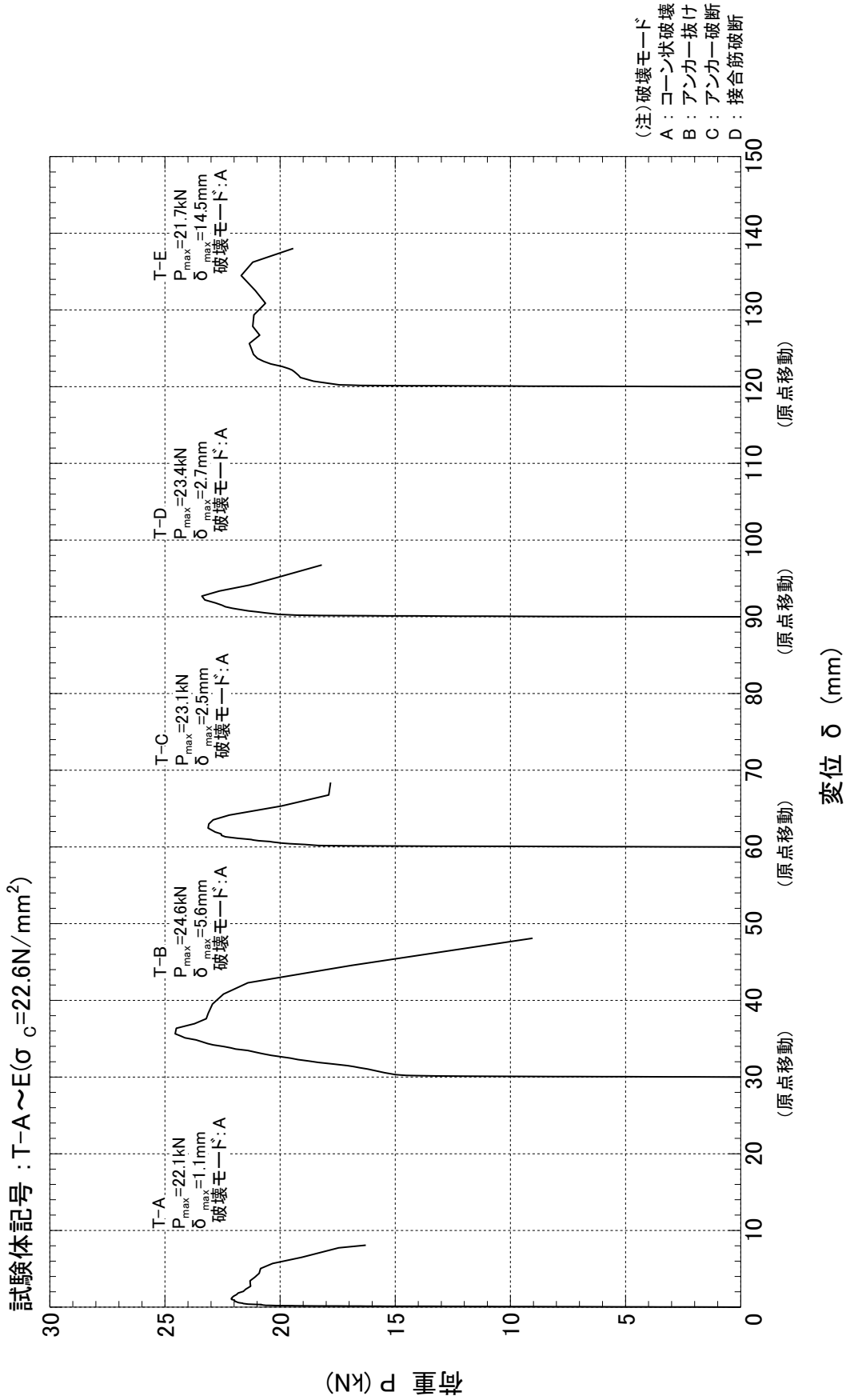


図-3 荷重-変位曲線

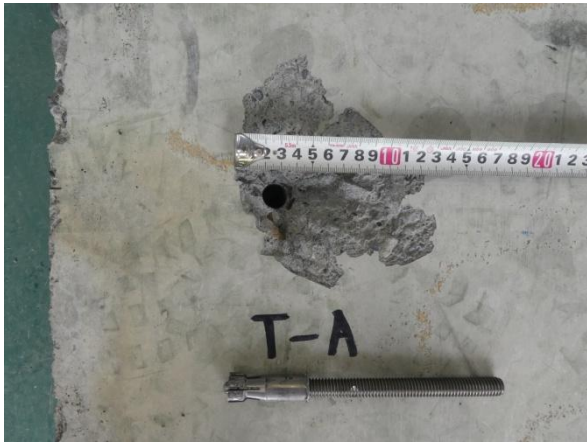


写真-2 破壊状況  
試験体記号：T-A  
試験項目：引張  
最大荷重：22.1kN  
A：コーン状破壊



写真-3 破壊状況  
試験体記号：T-B  
試験項目：引張  
最大荷重：24.6kN  
A：コーン状破壊



写真-4 破壊状況  
試験体記号：T-C  
試験項目：引張  
最大荷重：23.1kN  
A：コーン状破壊



写真-5 破壊状況  
試験体記号：T-D  
試験項目：引張  
最大荷重：23.4kN  
A：コーン状破壊



写真-6 破壊状況  
試験体記号：T-E  
試験項目：引張  
最大荷重：21.7kN  
A：コーン状破壊